

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

|         |                     |            |            |
|---------|---------------------|------------|------------|
| 事業所番号   | 1270401134          |            |            |
| 法人名     | メディカル・ケア・サービス㈱      |            |            |
| 事業所名    | 愛の家グループホーム千葉小倉      |            |            |
| 所在地     | 千葉県千葉市若葉区小倉町1802-15 |            |            |
| 自己評価作成日 | 平成23年3月5日           | 評価結果市町村受理日 | 平成23年6月17日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://kaigo.chibakenshakyō.com/kaigosip/Top.do">http://kaigo.chibakenshakyō.com/kaigosip/Top.do</a> |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                                |  |  |
|-------|--------------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人VAICコミュニティケア研究所       |  |  |
| 所在地   | 千葉県千葉市中央区千葉港4-4 千葉県労働者福祉センター5階 |  |  |
| 訪問調査日 | 平成23年4月26日                     |  |  |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

|  |
|--|
| <p>ご利用者様の必要に応じたサービス、足浴や個々の外出、ご家族様を含めた行事や外出・外食等を積極的にい行いホーム運営、ケアの向上に努めている。</p> |
|--|

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

|  |
|--|
| <p>入居者本位の介護サービスを家庭的雰囲気の中で提供している。特筆すべき点は①入浴をしない日は足浴をして心と体のケアをしている②自宅の延長としての一人ひとりに合った居室作りを支援している③外出等を重視して、生活にメリハリをつけていることである。また、法人本部が主導して、職員の処遇改善を検討しており、実現が期待される。</p> |
|--|

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 |  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   | 項目 |   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○                     | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○                     | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                     | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くない            |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)   | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 66 | 職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○                     | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  |    |   |                       |   |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |   |
|--------------------|-----|---|---|--|---|
|                    |     |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |   |   |  |   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                            | 運営理念に沿い穏かな生活の支援に努めご利用者様の思いを尊重したケアを心掛けている。                               | 法人の運営理念を基に行動指針としてホーム独自の運営理念があり、日常のミーティングで唱和することにより、共有と確認を図っている。                          |   |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                            | 散歩の際、近隣とのやりとりがあったり、季節ごとの地域行事に参加している。                                    | 理念に「地域とのふれ合い」を掲げ、運営の柱の一つとして取り組んでいる。近隣グループホームとの合同行事、中学生の職場体験の受入れ、地域の祭等への参加など、交流拡大を目指している。 | 当ホームならではの情報、資源をどのような方法で地域に提供し、かつホームへの理解を広げるかという視点で検討することを期待したい。 |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                          | 必要に応じて、関連事業所に連絡している。  |  |   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている       | 自治会、地域包括支援センター・ご利用者様・ご家族様を交え話し合い機会を設けているが職員の参加は少ない。                     | 民生委員、地域包括支援センター職員、入居者家族の出席により、ホームの現況報告を中心に意見交換の場としている。                                   |   |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                 | 主にホーム長、ケアマネが担当者と連絡を取り合っている。   | 情報交換を密にしており、随時アドバイスを得ている。  |   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 月に一回職員間で勉強会を設けている。また、帰宅願望の強いご利用者様の対応にはホーム長の指導により玄関解放を行い見守り、声掛け対応を行っている。 | 玄関は施錠せず、見守りにより対応している。月1回の勉強会のテーマにも取り上げており、本部研修等にも参加してスキルアップを図っている。                       |   |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている       | 月に一回職員間で勉強会を設け、職員の意識向上に努めている。   |  |   |

【評価機関】

特定非営利活動法人VAICコミュニティケア研究所

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----|-----|--|---|---|-------------------|
|    |     |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 現在、該当者がいない為、学ぶ機会を設けていますが、今後活用することも考えられるので学びの機会をつくる。   |   |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 主にホーム長、ケアマネが担っている。入居後は、ホーム長・ケアマネに加え全職員でご家族様と連携をとっている。 |   |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | ご利用者様の日頃の様子をユニット会議、全体会議で話し合い運営推進会議などで報告の機会を設けている。     | 家族会が年2回あり、懇親と共に意見交換の機会としても位置付けている。家族来訪時は短時間でも必ず話し合いの時間を設けて、意見聴取に留意している。聞き取った内容は職員間で共有し、改善に役立っている。 |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | ユニット会議、全体会議以外にも日頃のケア内で相談の機会を設けている。                    | 職員間は自由な意見交換が出来る雰囲気 が培われており、具体的に業務改善に反映している。   |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 職員が向上心を持って働けるよう日頃のケア内で課題を共有している。                      |   |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 定期的にホーム外の研修に参加しホーム内勉強会を行っている。                         |   |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 同業者との相互訪問を通しご利用者様同士の交流につなげサービスの質の向上に努めている。            |   |                   |

| 自己                           | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|------------------------------|-----|--|---|--|-------------------|
|                              |     |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |   |  |                   |
| 15                           |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 少しずつ御本人と接していく中で訴えを傾聴し受け止めていくケアを意識している。                                      |  |                   |
| 16                           |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | ご家族様と直接お話する機会を細めに設けて不安・要望に理解・受け止めるよう努めている。面会時は、どの職員もご利用者様の最近の様子を話せるようにしている。 |  |                   |
| 17                           |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 御本人とご家族様の立場にまわり、職員間で情報共有しニーズの対応に努めている。                                      |  |                   |
| 18                           |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 日常生活の一部として暮らしに必要な不可欠である料理・洗濯・買い物などと通じて安心できる生活を支援している。                       |  |                   |
| 19                           |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 面会時や電話報告、月一回の手紙等によりご利用者様の様子を随時お知らせしている。                                     |  |                   |
| 20                           | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 日々のケアの中で職員と共にドライブに行かれたり散歩に行かれ、懐かしい話題が聞かれる。また、知人の来訪もしばしば伺える。                 | 日常の中で個々の思いを把握し、実現に導くことに配慮している。行きつけの店での買い物等、個々の要望に沿った外出支援や自宅の延長としての部屋作りを重視している。 |                   |
| 21                           |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 利用者様同士がよりよい関係が築けるよう職員が間に入りきっかけ作りを行っている。                                     |  |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|------------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | サービスの利用が終了しても、必要に応じて主にホーム長・ケアマネにより相談・支援を受けている。         |   |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |   |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 御本人様とご家族様との思いを尊重しながら個々のケアを大切にしている。                     | ケアマネジャーがじっくりと話を聞くようにしている。職員も、時間が取れた時は入居者に寄り添って思いを掴むように努めている。家族から情報を得ることもある。     |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | これまでの生活環境の情報収集をし馴染みやすい環境を整えている。                        |   |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 職員同士の申し送りを徹底し日々の状態・様子の把握に努めている。                        |   |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ユニット会議や職員情報を基に御本人のニーズを話し合い、またご家族様との意向を合わせながら作成にあたっている。 | 日頃から把握に努めている本人や家族の希望等や職員の気づきが書かれた介護記録を基に介護計画を作成している。毎月モニタリングを行い、状況に応じて随時変更している。 |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 介護記録から情報収集をし積極的に実践を行い、それに対してのモニタリングを行っている。             |   |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | その時々のご利用者様の様子に応じて柔軟なサービスの向上に努めている。                     |   |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |  |
|----|------|---|---|--|--|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容  |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 地域資源を有効活用しながら日常生活の中で笑顔を多く引き出せる様努めている。運営推進会議では、民生委員と意見交換を行っている。中学校の職場体験で交流の機会を持っている。 |  |  |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | 2週間に1度の往診の他に必要時、緊急時適切な医療が受けられるように支援している。  | もともとのかかりつけ医への受診も家族の協力や職員が同行する等して支援している。  |  |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 週一回の訪問看護にて日々の健康状態、様子を報告し助言を頂いている。又、24時間体制も整えている。                                    |  |  |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 職員は、細めに見舞いに伺うように努めており、その際には医療機関と情報共有を作っており退院時には主治医より留意点を伺っている。                      |  |  |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 御本人・ご家族様・主治医と話し合いを設け、最期までその人らしい穏かな生活を支援できるよう全職員で努めている。                              | すでに看取りの経験がある。一人ひとり状況が違うので、その都度、管理者が職員を指導しながら、いつでも管理者と連絡が取れるようにして安心感を持てるようにし、職員の心のケアにも配慮している。家族の協力も欠かせないので、話し合いを重ねて、支援している。 |  |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 緊急対応マニュアルの把握、定期的に勉強会を行い、全職員が理解できるよう取り組んでいる。   |  |  |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 年2回の消防訓練を行い緊急時に備えている。その際、ご家族様の参加・近隣住民に声掛けを行っている。                                    | 近隣にも呼びかけ避難訓練を実施している。1回は夜間想定で行った。食糧、水等の備蓄もある。   | いざという時にはやはり、地域の協力が欠かせないと思われる。今後も地域との協力体制の確立に向けて、工夫が望まれる。 |

| 自己                               | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----------------------------------|------|---|---|---|-------------------|
|                                  |      |   | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |   |   |   |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                    | 職員間で誇りやプライバシーを損ねない声掛け、対応を心掛け、温かい雰囲気を作りだせる意識している。  | 研修も実施し、日頃から言葉使いに注意している。トイレのドアを閉める等の基本的なことを大切にしている。また、一人ひとりの居場所を作る配慮もしている。           |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                      | ご利用者様の思いを尊重できる様、選択の機会を設け、自己決定につながる支援をしている。  |   |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ご利用者様一人一人のペースに合わせ、その人らしい穏か安心安全な生活に結びつくよう支援している。   |   |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                   | 毎日の身だしなみは職員が声掛けし、御自分でお洒落をされている。他にも2ヶ月に1回の訪問理容に来て頂き整容されている。又、ご利用者様のご家族様の美容室へ職員が付き添い通われている方もいる。 |   |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている      | 職員と共に調理をしたり、食事の準備・後片付け等、手伝って頂いている。又、ご利用者様と一緒に食卓を囲み楽しく、美味しく食事ができるよう努めている。                      | 食器を乗せるお盆を拭くなど、入居者はできることをしている。外食をしたり、出前を取ることもある。出前では、事前にメニューを見ながら何にするか決めるのも楽しい時間である。 |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている           | 食事量、水分量を毎日記載し様子観察を行っている。体重の増減や体調の異変に関しては主治医と相談・指示を仰いでいる。                                      |   |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                    | 毎食後、声掛けにて口腔ケアをして頂き、必要に応じて職員による介助を行っている。歯科医が定期的に口腔ケアを行っている。                                    |   |                   |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----|------|--|--|--|-------------------|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                             | 個人の排泄パターンを把握し声掛けにてトイレ誘導、必要な介助を行っている。   | 病院から退院してきた時にはリハビリパンツを着用していた人が、支援の結果、布パンツで過ごすようになった例がある。                                    |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる   | 声掛けにより水分摂取・適度な運動を働きかけを行っている。水分摂取の少ないご利用者様には好みの物を伺い提供する等工夫を施している。                         |  |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている                       | 入浴日は決めずにその日のご利用者の状態に合わせて入浴を提供している。心休まる時間となる様支援に努めている。                                    | 希望によって、毎日入る人もいる。お風呂に入らない日は必ず足浴をしている。一日2回の足浴を行い、状態が改善されたこともある。入浴を嫌がる人には声掛けや入浴剤の使用等の工夫をしている。 |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している  | ご利用者様の生活習慣を尊重し、その人のペースにて休息をとられている。   |  |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている   | 薬の目的、作用は全職員が把握しており、変更・追加の際は往診結果をその都度確認し、ご利用者様の様子観察に努めている。                                |  |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                            | 御本人様・ご家族様より趣味や楽しみをお伺いしホームでの生活にも取り入れ笑顔のある生活につながるよう支援している。                                 |  |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | 職員と共に買い物に出掛け御自分の好きな物を購入されている。又、ご家族様と共に墓参りや外食にも出掛けている。「ふれあいきいきサロン」では地域の方々にご協力を頂き参加に努めている。 | 個別に買い物に出かけている。また、職員と家族が一緒にお墓参りに行く等、希望にそった外出支援に努めている。                                       |                   |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|------|--|--|---|-------------------|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | ご利用者様の希望に応じて買い物時現金をお渡しし、安心感を得られている。                        |   |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 希望に応じて電話・手紙・FAX等外部とのやり取りが出来るよう常に支援している。                    |   |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 生活の場である為、清潔保持に努め細めに換気を行っている。又、飾り付けを行い季節を感じて頂くよう努めている。      | 明るいリビングには庭で積んだ花を飾ったり、入居者が持ってきたピアノが置いてあったり、家庭的な雰囲気である。賑やかなリビングでみなと一緒にいたいという希望で、畳部分に布団を敷いて休む人もいる。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | リビングの他、陽のあたりの良い空間を確保し気の合うご利用者様同士で穏かに過ごしている。                |   |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 居室には、御本人様の使い慣れたものや好みのものを置き、居心地良く過ごせるよう環境を整えている。            | 神棚、花、三味線等の楽器や写真、テレビなど、それぞれが思い思いの品を持ち込み、居心地良く過ごせるようにしている。  |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 事故のないよう職員の見守りのもと、積極的にお手伝いをして下さりそれぞれに役割を持っており自立支援の向上に努めている。 |   |                   |